

平成26年度



農と環境を活かした
まちづくりの推進

地域活性化検討専門部会

第2回専門部会 説明資料



平成26年 9月24日

目次

■平成26年度の活動報告(中間報告)

- 1. 活動の目的等 4
- 2. 今年度の活動概要 5
- 3. 活動報告 6
- 4. H26今後の活動予定 18
- 5. まとめと今後に向けて 20
- 6. 今年度及び次年度の活動(案) 21

■収穫祭との連携

- 1. 実施概要(案) 23
- 2. 実施事項(案) 24

■農と環境を活かしたまちづくり

黒川地区基本計画(案)(3部会共通資料)

- 農と環境を活かしたまちづくり黒川地区基本計画とは 31
- 1. 背景 32
- 2. 対象地 33
- 3. 基本目標と基本方向 34
- 4. 実施方針 35
- 5. H28以降の本格活動の実施事項(案) 36
- 6. <参考>平成26・27年度 of 取組み 37

■平成27年度のデザイン祭(プレ)について

- 1. 背景 39
- 2. デザイン祭の基本的考え方 40
- 3. 実施概要 41
- 4. 基本的な進め方・実施体制等 42
- 5. 実施する主な枠組み 43
- 6. 里地里山デザイン祭展開エリア 44
- 7. デザイン祭でのアイデア例 45
- 8. 実施期間(たたき台) 46
- 9. 開催に向けたスケジュール 47
- 10. 開催に向けた留意事項・調整事項 48



平成26年度の活動報告(中間報告)



1

活動の目的等

(1) 地域活性化検討専門部会の目的

農や緑、環境を通じた地域の活性化や地産地消の推進につながるイベント等の実施や必要な施設等の検討を行う。

(2) 取組み方針と今年度の具体化施策

取組みの方針	計画	具体例
(1) 農と里山の体感	体感→見る・聴く・嗅ぐ →体を動かす →味わう	→1) バスツアー →2) 食農イベント →3) 農業体験
(2) 地域資源の 発見・創造・育成	発見(地域資源を調べる・見つける) 想像(地域資源を創る) 育成(地域資源を育てる・発信する)	→4) ウォーキングマップの作成支援 →5) 農と環境の情報ホームページ作成
(3) 地域・大学の協働	地域との協働 大学との協働 地域と大学との協働	→6) 菜の花プロジェクト →7) スイーツレシピづくり →8) (仮称)コミュニティ農園の検討 →9) 収穫祭連携イベント

2

今年度の活動概要

項目	概要(ねらい等)
1) バスツアー	農と環境が体感できるバスツアーを開催
2) 食農イベント	農と環境を考える、食農に関する夏休み親子体験イベント
3) 農業体験	野菜の苗の植え付け体験、収穫体験、調理・食事体験
4) ウォーキングマップの作成支援	ウォーキングマップ作成にあたり、先行して市有地に関する啓発看板について、里地里山利活用専門部会と協働でワークショップを行い掲示する。
5) 農と環境の情報ホームページ作成	麻生区ホームページにコンテンツを追加し、活動内容等のアップを行う
6) 菜の花プロジェクト	菜の花から搾油した菜種油を用いて、地域内資源循環をアピールするプロジェクト
7) スイーツレシピづくり	菜の花プロジェクトと明治大学生との連携した取組み。黒川野菜を使ったスイーツレシピづくり
8) (仮称)コミュニティ農園の検討	市民団体×農家×市民×明治大学生により、これまでの振り返りと今後の取組みについてのワークショップを開催
9) 収穫祭連携イベント	麻生区に立地する大学との連携イベント。明治大学収穫祭にて、禅寺丸柿800周年関連イベント、コンサート、堀取り体験を開催



3

活動報告【(1)農と里山の体感】

1) バスツアー

農と環境が体感できるバスツアーの試行実施

目的：農と環境が体感できる場所をめぐるバスツアーを実施し、区内にある地域資源を再発見する。

内容：コース1（麻生区役所→王禅寺処理センター→明大黒川農場→柿生水力発電所→セレサモス→麻生区役所）（自然エネルギー、最先端農業技術の見学）

参加者の声

- ・個人で入れない施設に入れた
- ・あることを知らない場所が多々あった

主催者意見

- ・バス席の制限があり、対象者数の増加を図ることが難しい



今後の予定

第2回開催

時期：10月予定

内容：コース2（麻生区役所→山田土筆美術館→古沢菜花圃場→早野があでんら・ら・ら→岡上柿園→セレサモス）：立ち寄り地での企画（地産地消について）

開催日時：7月24日（木）9:00～15:00
参加者：8組（大人8名、子供11名）



3

活動報告【(1)農と里山の体感】

2) 食農イベント

麻生の農と環境を考える（食農）～夏休み親子体験教室～

開催日時：7月22日（火）10:00～12:00

開催場所：麻生区役所会議室

参加者：20組（大人20名、子ども26名）

①ダンボールコンポスト講習会

目的：2回の講座を通じて、家庭で資源循環について話し合い、行動してもらうことを目的とする。

内容：夏休み自由研究用のダンボールコンポストの入門講座。コンポストを使用して、家庭から出る生ごみを堆肥化するための方法を学んでもらう。



→アフターフォロー講座

目的：アフターフォローを行うことで、資源循環に関する意識付けを強化する。

内容：1カ月実践しての感想と、継続のためのアドバイスを行う。

開催日時：8月21日（木）10:00～11:30

開催場所：麻生区役所会議室

参加者：15組（大人15名、子ども16名）

参加者の声

- ・今後生ごみリサイクル活動を継続したい
- ・子供主体の発表が良い

主催者意見

- ・参加者の意欲にばらつきがあり、二回目の講座では、5組の欠席がでた



3

活動報告【(1)農と里山の体感】

②親子エコクッキング

目的：子どもと一緒に麻生区産の野菜を使用したピザを作りながら、ごみを少なくする工夫や生ごみの有効利用、麻生区の農業資源について学んでもらうことを目的とする。

内容：農の話と、麻生区（黒川）産の野菜を使用したエコクッキング〔調理実習～試食〕を実施。調理で出た生ゴミはダンボールコンポストに使用。

参加者の声

- 地場産野菜の知識やゴミを減らす事への関心が高まった
- 稲作体験をしてみたい。

主催者意見

- 料理室の定員の制約があり対象者数の増加を図ることが難しい

開催日時：7月24日(木) 10:00～13:00
 開催場所：麻生市民館調理室
 参加者：13組（大人13名、子ども17名）



3

活動報告【(1)農と里山の体感】

③明治大学黒川農場と連携したグリーンツーリズム

目的：ダンボールコンポスト講習会、エコクッキングの参加者を対象に実施。畑の見学を中心にを行い、農産物の生産から販売までを学んでもらうことを目的とする。

内容：大学連携によるグリーンツーリズムは、今年度初めての事業。グリーンツーリズム（農地課職員とともに、ブルーベリー農園等の周辺散策）の後、明治大学黒川農場を見学。農場で育てられている野菜の収穫体験を行う。セレスモスの職員から、地産地消に関する説明を受け、セレスモスで買い物後自由解散。

参加者の声

- ・農場内の見学が楽しかった
- ・トマトが美味しかった

主催者意見

- ・猛暑が原因で直前の参加辞退者が多数出た

開催日時：8月4日(月)9:00~11:50
開催場所：明治大学黒川農場・セレスモス
参加対象：①・②参加者
参加者：8組（大人8名、子ども12名）



3

活動報告【(3)地域・大学の協働】

6) 菜の花プロジェクト

参加メンバー：農家、市民、市民団体（かえるプロジェクト）、明治大学生
（41products・サラダボウル）

麻生区産の菜種油を通じて地域内資源循環をPR

目的：今年度は「農」「地域交流」「循環型資源」を念頭にモデル的な取り組みの1つとして、菜の花栽培を通じて農を考える「菜の花プロジェクト」を行う。

内容：古沢の農家の方の協力を得て、遊休地や水路を使って菜の花を育て、菜種油を搾油し、菜の花栽培を通じて農を考える取組み。



黒川地区での取組

平成26年下半期は、黒川地区においても明治大学黒川農場の協力を得て活動展開



圃場検討地

3 活動報告【(3)地域・大学の協働】

7) スイーツレシピづくり

参加メンバー：市民団体（かえるプロジェクト）、
明治大学生

麻生産の菜種油を使って地場野菜を活かした スイーツのレシピづくり

目的：麻生区産菜種油のPRの一環として、地元野菜と菜種油を用いたスイーツレシピ作りを行う。

また、大学と連携し、大学生との交流を設けながら、斬新なアイデアを取り入れていく。

内容：「菜の花プロジェクト」でつくられた菜種油で、黒川産野菜と組み合わせたスイーツのレシピづくりを行う。明治大学の収穫祭では、ドーナツの試食会を行う。



黒川地区での取組


平成26年下半期は、
明大黒川農場収穫
祭において、麻生
産野菜を活用した
スイーツ試食会を
開催する予定



3

活動報告【(3)地域・大学の協働】 (区全体での取組み)

6) 菜の花プロジェクト・ 7) スイーツレシピづくり 【活動スケジュール】

	菜の花プロジェクト	スイーツづくり		菜の花プロジェクト	スイーツレシピづくり
4月	2013年度作付分の菜花満開		9月	(国産菜種の配布～10月) 親子料理教室(麻生産菜種油を使用)	スイーツづくり(第4回) 学生人数:10名程度
5月		スイーツづくり(第1回)	10月	作付圃場の耕起、播種 学生人数:5名程度	スイーツづくり(第5回) 学生人数:10名程度
6月	6/14～30 菜種刈り取りと選別作業 (述べ9日、29人が作業) ※総収穫量:32.8kg	6/25 スイーツづくり(第2回) ・ほうれん草パンケーキ ・カボチャドーナツ 他 ・茄子の蒸しケーキ 他	11月8日 報告		
7月	2013年度作付分搾油。下旬		11月	除草作業、間引き作業、施肥 学生人数:5名程度	黒川農場収穫祭 (来場者に対するドーナツスイーツの試食会) 学生人数:10名程度
8月	2014年度作付圃場の決定 2013年度産菜種油試食会	スイーツづくり(第3回) 協働者との試食会 ※農園のメンバーへのスイーツのお披露目会	12月	除草作業(1回程度)	
			1月		
			2月	除草作業(2回程度)	
			2月～3月	年度内活動のまとめと翌年度意向の方向性検討	
			成果のまとめ		
	(仮称)地域コミュニティ農園の検討(ワークショップ実施) (参加者:農家・市民・かえるプロジェクト・学生)		3月	除草作業(1回程度) (生育状況調査)	レシピ集の作成

**8月28日
中間報告**

成果のまとめ

3

活動報告【(3) 地域・大学の協働】(区全体での取組み)

8) (仮称)地域コミュニティ農園の検討

目的:農地や遊休地等を活用し、地域活性化につなげていく事を目的に、(仮称)地域コミュニティ農園の検討・試行に取り組んでいる。これまでの作業等を通じて今後の取組みのアイデア等に関する意見交換、また今回の活動を通じて、今後の(仮称)地域コミュニティ農園のあり方に関するワークショップを実施する。

■検討内容

- テーマ1：これまでの作業で感じたこと等の意見交換**
約5か月間の菜の花プロジェクトやスイーツづくりの活動の中で、良かった点、改善点、あったらいい事についての意見交換を行う。
- テーマ2：今後の取組みに関する意見交換**
これまでの活動結果を踏まえて、今後の課題及び解決策についての意見交換を行う。

開催日時：8月28日(木) 13:40~15:30
対象者：農家、市民、かえるプロジェクト、
明治大学生
開催場所：麻生市民館 料理室
参加人数：18名



3

活動報告【(3) 地域・大学の協働】

(区全体での取組み)

8) (仮称) コミュニティ農園の検討(参考)

〈検討体制と概要〉

8) (仮称) 地域コミュニティ農園の検討

菜の花プロジェクト及びスイーツレシピづくりの参加者が今後の取組みのアイデア等に関する意見交換、また今回の活動を通じて、今後の(仮称)地域コミュニティ農園のあり方をワークショップで検討

参加

6) 菜の花プロジェクト

農家・学生・市民及び市民団体が協働で遊休地や低未利用地を使って菜の花を育て、菜種油を搾油し、菜の花栽培を通じて農を考える取組み。

菜種油提供

7) スイーツレシピづくり

「菜の花プロジェクト」で作られた菜種油を使い、学生と市民団体が地元でとれた野菜と組み合わせスイーツのレシピづくりを行う。明治大学の収穫祭では、ドーナツの試食会を行う。

〈協働イメージ図〉



3

活動報告【(3)地域・大学の協働】 (区全体での取組み)

8) (仮称)地域コミュニティ農園の検討 ワークショップ テーマ1まとめ

地域コミュニティ農園ワークショップ		日時：平成26年8月28日(木) 13:40~15:30
テーマ1 これまでの作業で感じたこと等の意見交換		場所：麻生市民館 料理室
		参加者：農家、市民、かえるプロジェクト、明治大学生
<p>■ 良かった点 ■ あったらしいな ■ 改善したい点</p>		
<h3>菜の花プロジェクト</h3>		
<p>菜の花栽培・収穫</p>	<p>畑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麻生区に菜の花の黄色が広がった。 ・豊のある風景が広がった。 ・収穫を伝える場所がたくさんあると良い。 	<p>栽培</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して種を種えられた。 ・国産野菜の栽培ができた。 ・除草剤があったら家だと思ふ。
	<p>収穫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菜種の収穫量が上がった。 ・収穫の楽な方法があったらいい。 ・マニュアルがほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと刈取り作業をやりたいかった。 ・選果などの改良でもっと、やりやすくなる。 ・菜の花の種の取り方に苦労した。 ・種の選別が大変。 ・時々人によって教え方が変わるの、差に学ばないといけない。 ・種をとる農家や市民・市民グループなどを種えたい。
	<p>作業場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種の選別作業に特生産売所の広場や、集会場を借りられたこと。 ・作業する豊稈のある小屋(部屋)が欲しい。 ・収穫の収穫期は、天候が安定しない時なので、作業場があるといい。 	
	<p>菜種油</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菜種を収穫し、搾油して、菜種油がとれた。 ・今までの油の使い方を見直すきっかけができた。 ・菜種をしぼる製油所に見学に行くことができた。 ・製品化し、特生産売所、セサモスなどの販売ルートができると良い。 	
	<p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国の菜の花プロジェクトにつながった。 ・農産物産の動きが見える化できた。 ・環境問題への理解が深まったこと。 ・農作業ができて良かった。 ・大学での学習を活かされたこと。 ・地産地消が広がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコバスターをやってほしい。
<p>情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域エネルギーとして菜種油の認知促進ができた。 ・去年以上に友だちや知人、自然のサイクルの大切さを伝えることができた。 ・駅前や会場付近にポスターなど発信できるものがほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大勢の人に理解してもらえると良い。 ・活動全体の発信力が、内向きで弱い。 	
<p>人との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刈取り、種取り、作業に人の輪ができた。 ・色んな人たち知り合い、良かった。 ・鈴木さん(農家の方)から、昔の話を聞いたこと。 ・鈴木さんが前年にも種して、菜の花をたくさん栽培してくださった。 ・活動の担い手が種え、楽しく作業できた。 ・古沢の農家さんとの出会い。 ・同じ作業をして共感が高まった。 ・リポーターをしっかりと獲得している。 ・皆さんの熱心さにビックリした。 ・若い学生さんのステッカーが素晴らしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地保全のための生産者・行政・市民とのネットワーク。 	
<h3>スイーツづくり</h3>		
<p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旬の野菜、地産の野菜について考えることができた。 ・地産野菜を使った調理ができた。 ・地産地消について考えるようになった。 ・スイーツに限らず、地産野菜を使いたい。 ・コンセプトが「旬の野菜」ということだったので、使用できる野菜が限られてしまったこと。 		
<p>レシピ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいレシピの考案は楽しい。 ・「ほうろく草のケーキ」等の、若い方の発想力に刺激を受けた。 ・おかず系をレシピも作りた。 ・揚げ物が多く、レシピの多様性がほしい。 ・どの年齢層にも受け入れられるスイーツレシピを考えることが難しい。 		
<p>作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“きなりっこ”を使った片付けが良かった。 ※きなりっことは 使用済みの天ぷら油などで作られたリサイクル石鹸 ・始まりと後片付け毎の段取りに手際取った。 		
<p>味</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試食をした菜種油の料理は全て美味。 ・油がもっとしつこいかなと思ったが、さっぱりして良かった。 		
<p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えたスイーツを発表する場があることが良かった。 ・菜種油を使って作った交流試食会。 ・様々なプロジェクトを同時に行っていることが良かった。 ・もう少し試作会の回数がほしい。 ・菜の花畑見学。 ・菜の花畑での作業への参加。 ・麻生特産品として販売ルートをつくる。それには企業、明治大学などの連携が必要。 ・子どもたちに活動が広がっていくといい。 ・華ぼうほうの土地を、花とか緑で、住む人の目や心を和ませてほしい。 		
<p>人との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生さんと一緒にできた。 ・幅広い年代の方々と交流する良い機会。 ・“食”を通じての会話や笑顔。 ・一生懸命になってやっているのに感動した。 ・様々な立場、世代の人たちが、同じテーマで交流できる。 ・子どもからお年寄りまで、色々な人に食べてもらう機会。 ・もっと学生さんの意見が取り入れられ、主体的に動ける方がいい。 ・たくさんの人と一緒に作ったり意見交換できると良い。 		



3

活動報告【(3)地域・大学の協働】

8) (仮称)地域コミュニティ農園の検討 ワークショップ テーマ2 まとめ

地域コミュニティ農園ワークショップ		テーマ2 今後の取組みに関する意見交換			日 時：平成26年8月28日(木) 13:40~15:30 場 所：麻生市民館 料理室 参加者：農家、市民、かえるプロジェクト、明治大学生
改善すべき点	取組みの改善案			新たな取組み案	
	菜の花プロジェクトで出来る事	大学との連携で出来る事	地域との連携で出来る事		
作 業	・菜の花プロジェクトの作業場所		・明大荒川農場でも菜の花を栽培して、作業場も借りる。	・土地を借りて、ビニールハウスを建てる。 ・既存施設の利用。例えば、空き教室、空き店舗、空き、王禅寺町道場。 ・梅雨の雨天時の作業場を提供してくれる団体を探す。	
	・菜種のとり方の工夫	・マニュアルの作成。 ・菜種の収穫講習会等を行う。		・“とうみ”などの昔ながらの草種採取機具を貸してくれる所を探す(農家やJA川純等)。又は作る。 ・選別にふるいを使う。	
商 品 化 ・ コ ス ト	・地場野菜の認知促進 ・地産地消の促進		・学園祭で地元野菜や草種油を使用するように呼びかける。	・地場産草種油の自産自消費を行う。 ・日給グルメに参加する。 ・販売するにはより多く収穫することが必要な為、場所と人を探す。 ・味噌汁に草種油を入れるなど、昔ながらの使い方を紹介する。	
	・販売商品化		・菜の花プロジェクト×明大農学部と連携したスイーツの商品化。	・今までにない新しい発想で、ニッチな商品を作る。例：ほうれん草ケーキ ・レシビ菓も同時に売るor付録でつける。 ・生産までのストーリーや商品を使ったレシビをつけた。草種油の販売をする。 ・ブランド化させる。	
	・活動(取組み)の発信を強化		・大学の授業で紹介してもらう。 ・明治大学学園祭でPRする。 ・明治大学の掲示板orHPなどで学生に宣伝する。	・かえるニュースを同会回覧する。 ・ホームページ、SNSなど、ネットを使う。 ・ターゲットをある程度決める(学生に来てほしいのか、年配なのか)。	
活 動	・活動の充実・拡大		・スイーツや草種油などを学園祭で販売する。	・菜の花サミットin 麻生の開催をする。 ・各地の草種油のテスト品評会を行う。 ・若い人向けのイベントを企画する。 ・小平等の他の菜の花プロジェクト活動の視察に行く。 ・スイーツだけでなく、他の調理法で新作をつくる。	



3

活動報告【(3)地域・大学の協働】 (区全体での取組み)

活動内容	参加者意見	課題
菜の花プロジェクト	<p>良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幅広い年齢層の様々な人と交流 ○地産地消について考えるきっかけ ○資源循環の動きが見える化できた <p>改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○レシピ用試作会の回数を増やしたい ○菜の花栽培・作業場所を確保してほしい ○活動全体の発信力が弱い ○旬の野菜にこだわり、レシピのレパートリーが狭まった 	<ul style="list-style-type: none"> ○菜花圃場と作業場の確保 ○収穫量の拡大 ○活動内容の発信強化とターゲットとする対象者の選定 ○作業内容の見える化
スイーツレシピづくり	<p>あったらいいな</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スイーツに限らず地場野菜について考えたい ○播種から搾油までの作業のマニュアル ○農地保全のための生産者・行政・市民とのネットワークが出来ると良い ○色々な人に食べてもらえる機会 	<ul style="list-style-type: none"> ○地場野菜の認知促進 ○菜種油を活用した商品開発 ○活動内容の発信強化とターゲットとする対象者の選定

4

H26今後の活動予定【(1)農と里山の体感】

3) 農業体験

①明治大学黒川農場での農業体験・食農体験イベントの試行実施

目的：農業体験・食農体験することにより、麻生区の農業資源について学んでもらうことを目的とする。

内容：先端農業技術の施設見学、野菜の苗の植えつけ体験、収穫体験、調理・食事体験などを行う。お昼はみんなで調理したものを頂く。明治大学黒川農場の先生や学生の方に教えていただきながら、親子で楽しくチャレンジするプログラム。

開催時期：10月4日(土) 9:30～15:00 (予定)
 開催場所：明治大学黒川農場
 対象者：麻生区在住・在学の小3～6年生と保護者
 定員：60名



②[参考]麻生区ふれあい公園「野菜の直売会等」

目的：搾乳・動物ふれあい体験することにより、麻生区の公園資源について学んでもらうことを目的とする。

内容：王禅寺ふるさと公園において、牛の搾乳体験、ポニーへの乗馬、起震車による地震体験、工作・クイズ等の児童体験、JA直売会を通じて、地域内における公園資源を再発見してもらい、活用促進につなげるプログラム

開催時期：10月4日(土) 10:00～16:00
 開催場所：王禅寺ふるさと公園

